

第9次宇都宮市交通安全計画の進捗と今後の取組について

I 市民一人ひとりの交通安全意識の向上

(1) 子どもから高齢者まで生涯にわたる交通安全教育の推進

①高齢者に対する交通安全教育

○交通安全教室の開催

| 指標名                        | H22     | H23     | H24<br>見込み | H27     |
|----------------------------|---------|---------|------------|---------|
| 高齢ドライバーへの体験型交通安全教室受講者数(年間) | 198人    | 585人    | 1,143人     | 1,300人  |
| 老人クラブ等での交通安全教室受講者数(年間)     | 2,018人  | 3,246人  | 2,844人     | 5,700人  |
| 高齢者戸別訪問による交通安全教育実施数(累計)    | 2,125世帯 | 3,793世帯 | 7,853世帯    | 9,600世帯 |

②中学生に対する交通安全教育及び③高校生に対する交通安全教育

| 指標名                            | H22 | H23 | H24<br>見込み | H27 |
|--------------------------------|-----|-----|------------|-----|
| スクエアドストレイト方式等による交通安全教室の開催数(年間) | —   | 5回  | 7回         | 6回  |

(2) 自転車利用者への交通安全教育の推進

①中学校、高校での自転車の安全利用に関する取組の促進

| 指標名  | H22 | H23 | H24<br>見込み | H27 |
|--|-----|-----|------------|-----|
| プロスポーツチームの活用などの手法による自転車の安全利用に関する取組を導入している学校数(年間) | —   | 3校  | 5校         | 16校 |

※ その他、幼児・児童等への交通安全教育、自転車利用者への交通安全教育を実施(詳細は「資料2-2」のとおり)

交通事故の発生状況及び成果指標

本市の交通事故の発生状況(高齢者、自転車など)

- 高齢者の死者数が増加(H23:死者の61%,そのうち7人が自転車)
- 自転車の交通事故発生件数が増加(29件)
- 第1当事者の年齢別発生件数は、65歳以上(34件)と40歳代(34件)、16~19歳(24件)、15歳以下(5件)が増加
- 第1当事者の自転車乗車中の交通事故では50歳代のみが減少(▲3件)し、全体では増加(48件)

第9次計画における施策の柱の成果指標

本市の交通マナーを『良い』『少し良い』と感じる市民の割合を増加させる。

| 指標名                            | H22年度 | H23年度 | H24年度 | 目標値            |
|--------------------------------|-------|-------|-------|----------------|
| 宇都宮市の交通マナーを『良い』『少し良い』と感じる市民の割合 | —     | 19%   | 21%   | H27年度<br>増加させる |

〔調査概要〕

市内に住所を有する18歳以上の市民を対象

送付総数:3,600通 回答総数:1,240通(34.4%)【H25.3.22日現在の集計値】

※マナーの定義が曖昧であるため、ルールの遵守について、アンケート調査を実施。

交通安全意識を向上させ、交通事故を防止するための今後の取組

- (1) 交通事故を減少させるためには、引き続き交通安全意識高揚のための取組を強化する必要がある。また、特に死者数の多くを占めている「高齢者」への取組を強化していく必要がある。
  - ⇒ 高齢者が参加しやすい場所、時間帯での交通安全教室の開催(地域イベント等)
  - ⇒ 高齢者戸別訪問による交通安全教育の実施(継続実施 13地区/年)
  - ⇒ (新規)ドライブシミュレーター、ドライブレコーダーを活用した高齢ドライバー対策の推進
  - ⇒ (拡充)事業所や大学での交通安全教育の実施(警察、安全運転管理者との連携)
  - ⇒ 免許取得世代(若年ドライバーや自転車利用者)へのスクエアドストレイト交通安全教室等の実施
  - ⇒ (拡充)交通事故データを活用した交通安全教室の開催
- (2) 自転車の交通ルールを理解し、交通事故の防止と自転車の安全な利用を促進するために、自転車利用者への交通安全教育を強化していく。
  - ⇒ (新規)企業等と連携した自転車教室の開催
  - ⇒ 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車教室の開催
  - ⇒ 高齢者自転車教室や自転車シミュレーターを活用した体験型教室の開催
  - ⇒ (拡充)子ども自転車免許の更新に関する取組の推進
  - ⇒ 自転車ヘルメット着用の促進

## II 地域住民と連携した道路交通環境の整備

### (1) 交通事故多発地点の安全性向上の推進

#### ①地理情報化した交通事故データに基づく交通事故多発地点の安全性向上事業の推進

- ・交通事故多発地点の交通事故の特性や発生原因等を分析し、多発地点の地域住民、警察と連携し、多発地点の対策を実施

| 指標名                     | H22 | H23            | H24<br>見込み    | H27  |
|-------------------------|-----|----------------|---------------|------|
| 交通事故多発地点対策箇所数<br>( )は累計 | —   | 完了1箇所<br>着手5箇所 | 6箇所<br>(12箇所) | 19箇所 |

#### 【平成24年度】

豊郷地区：市道500号線（陽の丘幼稚園南東交差点）

- ⇒ 周辺自治会等へのポスター配布，啓発看板の設置，停止線の更新，道路の修繕，標識設置箇所変更（検討）

御幸地区：産業通り，市道1504号線，（2箇所）

- ⇒ 周辺企業等へのポスター配布，啓発看板の設置，停止線の更新，カーブミラーの調整

泉が丘地区：越戸通り，泉が丘（泉が丘3丁目バス停）

- ⇒ 周辺自治会等へのポスター配布，信号機の連動について検討，啓発看板の設置

### (2) 自転車や歩行者の通行空間の確保

#### ①自転車の通行空間の確保

- ・自転車のまち推進計画に基づき，優先整備路線における自転車走行空間を整備

| 指標名          | H22   | H23    | H24<br>見込み | H27    |
|--------------|-------|--------|------------|--------|
| 自転車走行空間の整備延長 | 9.6km | 14.5km | 16.9km     | 25.4km |

#### 【平成24年度】

競輪場通り（今泉新町交差点～東署交差点）：L=520m

（松原3丁目交差点～下戸祭2丁目の一部区間）：L=400m

市道3761号線（弁才天橋～競輪場通りの一部区間）：L=600m

富士見通り（不動前通り～中央図書館西）：L=900m

【参考 栃木県整備】 今小路通り：L=700m，上三川街道：L=200m

【参考 宇都宮国道事務所】 交差点等における自転車走行位置明示の施行実施

#### ②歩行者の通行空間の確保

- ・歩道が整備されていない通学路等において，通行区間の確保を図るとともに，視覚障がい者誘導用ブロックの設置等バリアフリーを推進する

## 交通事故の発生状況及び成果指標

本市の交通事故の発生状況（道路別）

- 国道（延長：129km）：発生件数が減少（▲17件），死者数は増加（3人）
- 県道（延長：206km）：発生件数が減少（▲15件），死者数が減少（▲5人）
- 市道（延長：2,834km）：発生件数が増加（65件），死者数が増加（2人）

| 道路種別等 |      | H22    | H23    | H24    |
|-------|------|--------|--------|--------|
| 国道    | 発生件数 | 730件   | 657件   | 640件   |
|       | 死者数  | 11人    | 4人     | 7人     |
| 県道    | 発生件数 | 762件   | 661件   | 646件   |
|       | 死者数  | 8人     | 8人     | 3人     |
| 市道    | 発生件数 | 1,409件 | 1,118件 | 1,183件 |
|       | 死者数  | 9人     | 6人     | 8人     |
| その他   | 発生件数 | 142件   | 99件    | 107件   |
|       | 死者数  | 0人     | 0人     | 0人     |

※ 道路延長は，国道，県道はH23.4現在，市道はH24.4現在（出典：道路事業概要）

### 第9次計画における施策の柱の成果指標

生活道路における交通事故発生件数を平成27年に850件以下とする（年間）

| 指標名                      | H22    | H23    | H24    | 目標値            |
|--------------------------|--------|--------|--------|----------------|
| 生活道路における交通事故発生件数<br>(年間) | 1,409件 | 1,118件 | 1,183件 | H27年<br>850件以下 |

## 地域住民と連携し道路交通環境を整備するための今後の取組

- 交通事故多発地点の安全性向上事業については，啓発看板の設置や路面標示など早期対応が可能なものを先行的実施していく。
  - ⇒ 陽南地区（2箇所），峰地区（1箇所），西地区（1箇所）
  - ⇒ 地域や警察，道路管理者と連携を図り，現場診断を行い対策を検討する
    - ・市：地元自治会との連携をはかり地域住民に危険箇所の状態を周知
    - ・道路管理者：道路の修繕，路面標示など
    - ・警察：停止線の更新など
- 自転車走行空間の整備については，引き続き「自転車のまち推進計画」に基づき，整備していく。

#### 【自転車のまち推進計画】

自転車に関する総合的な計画として，H23年に策定されたもの（計画年次H23～27年度）  
「自転車走行空間の確保」などの施策を位置づけ

### Ⅲ 地域における道路交通秩序の維持

#### (1) 市民に広く普及している自転車の交通事故防止のための地域活動の促進

##### ①自転車の安全な利用のための街頭指導の実施

- ・市内の自転車通行量の多い場所にて、高校生の交通問題を考える会や地域住民と連携し、自転車利用者に直接安全利用を呼びかける街頭指導を実施

| 指標名        | H22 | H23 | H24<br>見込み | H27 |
|------------|-----|-----|------------|-----|
| 街頭指導の実施箇所数 | 1箇所 | 1箇所 | 7箇所        | 6箇所 |

##### 【平成24年度】

- オリオン通り : 8回
- 競輪場通り : 2回
- 桜2丁目交差点 : 2回
- 平松町交差点 : 2回
- 南大通4丁目交差点 : 2回
- アピタ宇都宮店西交差点 : 2回
- 雀宮中央小南側交差点 : 2回

警察署、自治会、学校、県と協働で実施  
2月末時点で延280人を動員



#### 交通事故の発生状況及び成果指標

##### 本市の交通事故の発生状況（自転車など）

- 高齢者の死者11人のうち7人が自転車乗車中
- 自転車の交通事故発生件数が増加
- 第1当事者が自転車乗車中の交通事故（200件）は、15歳以下（51件）、65歳以上（53件）が半数を占める

平成22年度に56.4%であった自転車通行実態調査における通行数に占める違反行為の割合を平成27年度までに30%以下にする。  
平成24年度の割合は43.0%であった。

| 指標名                         | H22年度 | H23年度 | H24年度 | 目標値            |
|-----------------------------|-------|-------|-------|----------------|
| 自転車通行実態調査における通行数に占める違反行為の割合 | 56.4% | 47.1% | 43.0% | H27年度<br>30%以下 |

##### 〔調査概要〕

日時：平成24年12月19日、21日 15:30～17:00  
場所：松が峰1丁目交差点（19日）、元今泉町交差点（21日）  
通行台数：松が峰1丁目交差点（169台）、元今泉町交差点（210台）

#### 地域において道路交通秩序を維持するための今後の取組

- 自転車利用者に交通ルールを遵守させるためには、地域や警察等との連携が必要である。
- ⇒ （拡充）自転車通行帯の整備箇所や社会実験の施行箇所等での街頭指導の実施
  - ⇒ （拡充）本年度拡大した箇所での、地域、学校、警察と連携した街頭指導の実施回数を増加させる。

##### 【再掲】

自転車の交通ルールを理解し、交通事故の防止と自転車の安全な利用を促進するために、自転車利用者への交通安全教育を強化していく。

- ⇒ （新規）企業等と連携した自転車教室の開催
- ⇒ 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車教室の開催
- ⇒ 高齢者自転車教室や自転車シミュレーターを活用した体験型教室の開催
- ⇒ （拡充）子ども自転車免許の更新に関する取組の推進